

令和7年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
社会福祉				講義		宇野 耕太郎	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	2	30	15	後期	幼免：選択	保育士：必修	
<p>[授業の目的・ねらい] 社会福祉分野の基礎的な部分を学び、保育の専門職として必要な知識としていく。 保育士として多様な職場での活躍が考えられ、各分野の基本的な内容の学びとしていく。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要] 教科書の内容を基本としてながら社会福祉の歴史から、各福祉分野の学んでいく。実践的な部分も各授業の中で取り入れていく。</p>							
<p>[受講上の注意事項] 各授業後に振り返りの小テストを実施する。授業内容を把握するよう努めてください。</p>							
[使用テキスト] 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 改訂2版 最新 保育士養成講座 第4巻 社会福祉				[評価基準] 授業態度(20%) 期末テスト(80%)			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目		授業内容				
1	オリエンテーション 保育における社会福祉		授業全体の説明 日本社会の動向、社会福祉の現状から保育と社会福祉のつながりについて理解する。				
2	社会福祉の歩み 社会福祉と子ども家庭福祉		家庭支援の必要性の理解と子どもの最善の利益を尊重することの意義を学ぶ。保育士としての役割を理解する。				
3	社会福祉の制度と法体系		国民の生活を支えるための制度や法体系を学び、社会保障制度の基礎を理解する。				
4	社会福祉行政と実施機関		社会福祉行政、各相談機関を理解し、福祉の財政についても学ぶ。				
5	社会福祉施設、社会福祉の専門職		社会福祉分野における専門職の内容について触れ、資格の定義、役割、機能等を根拠となる法律から学ぶ。また各専門職との多職種連携について理解する。				
6	社会保障及び関連制度の概要		社会保障の基礎を学び、関連する制度等の理解する。				
7	相談援助の機能		相談援助の定義、原理・原則の理解を深めるとともに、相談援助と保育の関係について理解する。				
8	相談援助の対象と方法		相談援助の機能及び対象、方法・技術について理解する。				
9	相談援助の展開過程		相談援助の具体例を通して、相談援助の展開及び相談援助の方法・技術について理解を深める。				
10	相談援助の具体例		事例を通して実際の相談援助の具体的援助方法について理解する。				
11	福祉サービスの利用促進 利用者の権利擁護		福祉サービスの利用促進に関する制度と、成年後見制度及び日常生活自立支援事業についての理解を深める。				
12	利用者の権利擁護 福祉サービスの質の保証		福祉サービスの利用者の利益を保証するために必要となる福祉サービスの質の保証の仕組みについて理解を深める。				
13	少子高齢社会への対応 包容(包摂)社会の実現		超高齢社会への対応、包容(包摂)社会の実現の動向について学習する。				
14	在宅福祉・地域福祉の推進 諸外国の状況		在宅福祉・地域福祉の推進、諸外国の動向について学習する。 まとめ。				
15	まとめ		試験				
実務教員としての経歴		社会福祉士の資格取得後、障害者関連の職務に従事。長野県社会福祉士会に所属し、成年後見人としても活動をしている。					
実務経験と授業の関連		福祉現場の経験を活かし、保育士として必要な社会福祉の知識・実践での技術等を伝える。					